

大槌中学校吹奏楽部を茅ヶ崎市で行われたスプリングコンサートに招待しました。  
その経緯がロータリー月刊誌に掲載されました。



[岩手県大槌中学校吹奏楽部、スプリングコンサート招待]

茅ヶ崎中央ロータリークラブでは、東日本大震災で甚大な被害に見舞われた岩手県大槌町・南三陸町に調査に赴きました。

震災発生翌日より、会員はじめ家族や地域のひとたちの協力もいただき支援活動を開始しました。

3月17日、ホカロン21,000個、水・食料・折りたたみ自転車等を4tトラックに積込み、会員が直接届けました。

また、3月19日には、道路が封鎖されていた南三陸町にノエビア化粧品所有のヘリコプターで出発。医師、看護師と共に調整員として会員も加わり救護、救援活動を行いました。これはAMDA（アムダ国際緊急医療NGO）の指導のもと行われたものです。

その後、支援が縁で知り合うことができた大槌ロータリークラブの会員から中学校の楽器が津波で流失したことを聞き、子供たちに希望や夢を与えられればとの思いから楽器を贈ることに決定しました。

さっそく2780地区に働きかけ地区補助金を活用し、大槌町立大槌中学校、南三陸町立志津川中学校、歌津中学校、志津川小学校に楽器を寄贈しました。

これにより、今年度の奉仕事業のひとつとして3月24～26日、茅ヶ崎市内の中学校吹奏楽部による「スプリングコンサート」に大槌中学校吹奏楽部の生徒さんを招待しました。

大槌中学校の生徒さんには、当会員宅でホームステイを体験してもらうなど家族ぐるみの交流を深め、コンサート当日は2曲の演奏を披露してくれました。この日の模様は、NHK・JCOM・朝日新聞・毎日新聞・神奈川新聞・地元紙タウンニュース等、多数のメディアにも取り上げられました。

今回の活動では、行政・市民・団体・学校関係等のご協力をいただき、また、会員の多くが活動に関わり相互の理解と絆を深めることができ、さらに広く皆様にロータリー活動を知っていただけるものと確信をしています。